がんばっています博多織【博多織工業組合】

博多織工業組合では平成20年10月、足かけ５年をかけ「博多織史」を発刊しました。福岡、博多の歴史や博多織の文化に親しんでいただけるようカラー写真を多用し、博多織の歴史と時代背景及び技術・技法を収めた博多織概論を掲載しています。組合の編集委員会が、国内はもとよりベトナム、中国にまで対象を広げて博多織に関する資料を集め、また資料の検証、修正、校正、監修作業など、多数の関係者の皆様のご指導とご協力をいただき完成することができました。

この博多織史は、全国の伝統的工芸品産地組合等へも進呈していますが、発刊を機に博多ブランドを地域の方々をはじめ、全国の方々、さらには海外へ向けて積極的に発信し、博多織が未来につながっていくことを期待しているところです。

また、電波に乗せた映像による発信という面で、今年２月にNHKドラマ「博多はたおと」が全国放送されました。昨年12月に九州・沖縄地区のみで放送され、それが16%もの高視聴率となったことによって、全国放送が実現したものです。

このドラマは、博多織産地の後継者養成学校である博多織デベロップメントカレッジ(NPO法人博多織技能開発養成学校)がモデルとなっており、約１年間にわたるNHKの取材をとおして製作されたものです。主人公が博多織の世界に飛び込み、成長していく姿と伝統を受け継ぐ覚悟を、地域の人たちとの関わりを交えて表現されたドラマでした。博多織にとって、その魅力が十分に表現されたものとなりました。

今年度のカレッジには、第４期生となる10名が入学し、また今月末には、２年間の基本カリキュラムを修了した生徒が卒業することになっています。放送されたNHKドラマのように、生徒の進路については各人の能力、適正、希望を見極め、組合、学校役員、組合員が一丸となって、よりよい職種に就けるように導かねばなりません。そして、産地の未来を切り拓くため、産地が育てた有能な人材とともに、今後の新しい博多織の世界を創造していきたいと考えています。

完成した博多織史

デベロップメントカレッジでの講義の様子

現在、需要が落ち込み、博多産地としても正念場を迎えているところですが、今後においても博多の伝統でもある旺盛なチャレンジ精神を発揮し、福岡アジアデザインコンテストへの参加や他産地とのコラボ(小千谷、大島紬)展示会などを積極的に進め、引き続きがんばっていきたいと思います。

カレッジにおける製織風景

○問い合わせ先
博多織工業組合（吉丸）
住　所：福岡市博多区博多駅南１−14−12
電　話：092−472−0761